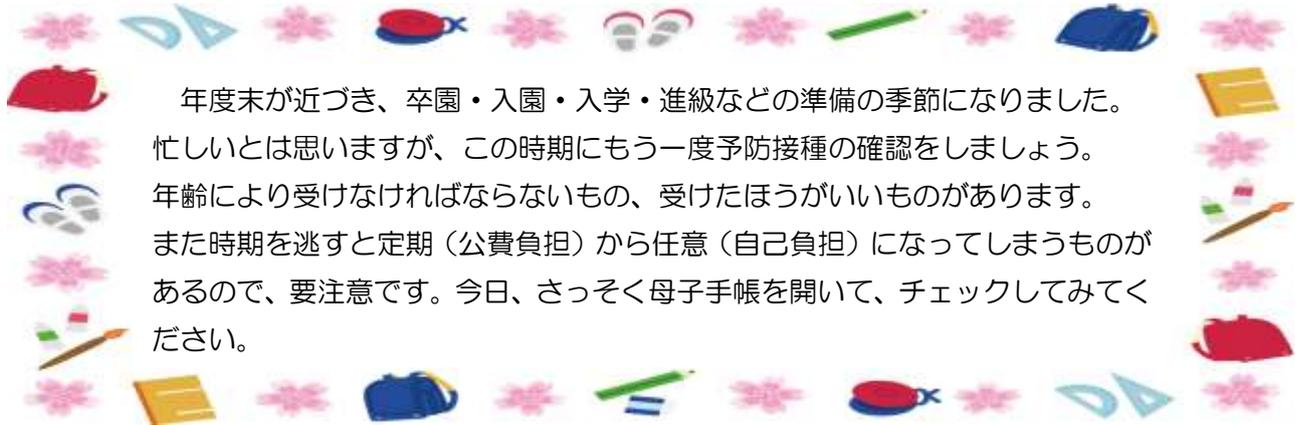




星の子だよリ



まだまだ寒い日が続いていますが、土の中からひょっこり顔を出している小さな芽に春の気配を感じます。しかし、インフルエンザや感染性胃腸炎のピークはこれからです。予防対策を万全にして、元気に春を迎えましょう。今年もより良い看護・保育を提供できるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



年度末が近づき、卒園・入園・入学・進級などの準備の季節になりました。忙しいとは思いますが、この時期にもう一度予防接種の確認をしましょう。年齢により受けなければならないもの、受けたほうがいいものがあります。また時期を逃すと定期（公費負担）から任意（自己負担）になってしまうものがあるので、要注意です。今日、さっそく母子手帳を開いて、チェックしてみてください。

利用者の声

看護部 八島 友美さん

我が家は、子ども3人でお世話になっています。星の子ルームの予約の電話をすると、名乗る前から「八島さんですね。今度は誰が具合悪いの?」と言われてしまうほど、長いお付き合いとなりました。今はだいぶ免疫がついて、多少の風邪では発熱はなくなりましたが、1歳のころは3人ともほぼ毎月のようにお世話になりました。子どもの体調が優れない時、仕事でお世話ができないことを申し訳なく思う時もありますが、星の子ルームという、同じ大学病院内に子どもがいるというだけで母はすごく安心して働けることができます。「休むほど具合悪くはない、でも保育園にお願いするには…」と迷う時、星の子ルームはすごくありがたい存在で、いつも私の見方でいてくれます。



災害時の避難場所について

災害時には災害対策外来支部から避難指示が出ます。指示により「星の子ルーム」は「**病院2階職員食堂**」へ移動します。避難指示が出ない場合は「星の子ルーム」で待機するようにします。もしどちらか迷う場合は、災害対策外来支部（新外来棟1階キャンサーボード室）でご確認ください。

